

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

園芸福祉ガーデンの企画、運営、管理を行う。  
園芸福祉ガーデンに必要なものの企画、設計、施工を行う。  
コンテストなどへの出展を積極的に行う。

《教科書》

松尾英輔2005年『社会園芸学のすすめー環境・教育・福祉・まちづくりー』農山漁村文化協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートについてはレベルに達するまで添削を行う。

《授業の到達目標》

- 1 ユニバーサルデザインの理念と基礎を学び、安全で安心な暮らしを理解する。
- 2 植物を介して人とのつながりを深め、利他的な考え方を身につけ。共感する心を養う。
- 3 植物の育成管理を通して、生きているものへの理解と愛着を養う。
- 4 地域社会に貢献するやりがいと達成感を味わう。

《成績評価基準》

レポートの提出状況、内容、授業への取り組みで判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート40%  
課題 % 実技 %  
授業の取組60%  
その他 ( ) %

《参考図書》

『ボランティア時代の緑のまちづくり』（進士五十八）東京農業大学出版会  
『安らぎと緑の公園づくり』（浅野房代・三宅祥介）鹿島出版会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	ガイダンスから自分の課題を考え、調べ学習を始める(2時間)。
2	講読1	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
3	講読2	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
4	講読3	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
5	講読4	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
6	講読5	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
7	講読6	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
8	発表1	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
9	発表2	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
10	発表3	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
11	発表4	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
12	発表5	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
13	発表6	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
14	中間まとめ 1	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。
15	中間まとめ 2	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	高宮 さやか				
授業方法	演習	単位・必修	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、『作庭記』のほか適宜、文献講読 研究課題に沿った調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 文化財庭園の維持管理作業への参加 維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する。

《授業の到達目標》

日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。

古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。

《成績評価の方法》

課題 40%  
授業の取組 50%  
その他（発表） 10%

《教科書》

小笠雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸出版社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

添削して1週間以内に返却する。

《成績評価基準》

演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。  
発表への取組態度とその表現力も評価する。

《参考図書》

（一財）日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	『作庭記』講読、解説 庭園見学	予習：『作庭記』成立について調べておく（2時間） 復習：見学した庭園のレポート作成（2時間）
2	『作庭記』講読、解説 研究課題の検討	予習：研究課題の検討（2時間） 復習：指摘事項について考察・解決（2時間）
3	『作庭記』講読、解説 研究課題の発表、討論	予習：研究課題の資料検索（2時間） 復習：指摘事項について考察・解決（2時間）
4	『作庭記』講読、解説 研究課題の発表、研究計画	予習：研究課題の内容洗い出し（2時間） 復習：指摘事項について考察・解決（2時間）
5	資料収集・調査・設計	予習：研究課題の内容洗い出し（2時間） 復習：指摘事項の整理・解決（2時間）
6	資料収集・調査・設計	予習：先行研究や文献資料の検索（2時間） 復習：指摘事項の整理・解決（2時間）
7	資料収集・調査・設計・ 施工計画	予習：先行研究や文献資料の検索（2時間） 復習：指摘事項の整理・解決（2時間）
8	調査・設計・施工	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
9	調査・設計・施工	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
10	調査・設計・施工	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
11	調査・設計・施工・提案 書作成	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
12	作業班中間発表・討議	予習：中間発表の準備（2時間） 復習：指摘事項の整理・解決（2時間）
13	調査・設計・施工・提案 書作成	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
14	調査・設計・施工・提案 書作成	予習：作業の準備（2時間） 復習：進捗状況の確認・問題点の解決（2時間）
15	中間まとめ	予習：中間発表の準備（2時間） 復習：指摘事項の整理・解決（2時間）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮島 淳二				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

昆虫の調査方法を学び、それにより環境評価を行った文献を学ぶ。これを基に身近にある西公園や大濠公園等において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに、植生調査を行い、チョウ相の季節変化の把握や環境評価に取り組む。担任の宮島教授は前職が県の技術職（研究職）であったことから、長年の経験を生かして、森林調査や生物調査のとりまとめ方に現場で適宜指導する。

《授業の到達目標》

チョウ類、植生など生物調査の方法を身につけ、主体的に動いてデータ収集ができるようになる。また、収集したデータを基に、分析して自然環境を評価できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 50% 実技 %  
授業の取組50%  
その他 ( ) %

《教科書》

フィールドガイド日本のチョウ（年度当初に配布する。）  
必要に応じて資料を配付する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

校外研修などを行った場合は、レポートを課す。また、調査のつど、説明を行ったり、質問したりして、学生の調査への積極性や自主的な学習量を判断する。

《成績評価基準》

授業の取り組み：教室での論文講読、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか、また、チョウ類や植物の同定でできるか評価する。

《参考図書》

「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：事前にメールされた内容を熟読して、チョウ類を記憶しておくこと(2時間) 復習：授業で学んだことを配付資料、参考書を使って確認する。(1時間)
2	第1回現地調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
3	第1回現地調査(二丈キャンパス)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
4	第2回現地調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合してその特徴を確認・記憶する(1時間)
5	第2回現地調査(二丈キャンパス)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
6	第3回チョウ類調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
7	第3回チョウ類調査(二丈キャンパス)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
8	第4回チョウ類調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
9	第4回チョウ類調査(二丈キャンパス)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
10	いのちのたび博物館見学	予習：いのちのたび博物館をネットで調べ、事前に博物館を調べる(1時間) 復習：見学した内容を整理し、レポートを作成する。(2時間)
11	第5回チョウ類調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
12	第5回チョウ類調査(二丈キャンパス)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
13	第6回チョウ類調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
14	第7回チョウ類調査(西公園・大濠公園)	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること(1時間) 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
15	中間発表	予習：7回までに調査データを整理し、レジュメ・パワーポにまとめる。(10時間) 復習：発表に対し、指摘があったことを精査し、内容を修正する。(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必修	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

1. ランドスケープデザイン, 2. コトとしてのデザインの在り方, 3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。

《授業の到達目標》

社会的な課題ををとらえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。illustratorなどのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。勉強会の企画・参加、空間制作などをおし様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 30 % その他 ( ) 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標 ~ に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。

《参考図書》

ランドスケープデザインの視座 / 宮城俊作 / 学芸出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：自分の課題などをノートに整理しておく 復習：ディスカッションした内容をノートに整理する
2	企業見学1：デザインの現場を訪ねる	予習：企業について調べ、質問などを考える 復習：写真、メモの整理
3	企業見学2：デザインと施工の現場を訪ねる	予習：企業について調べ、質問などを考える 復習：写真、メモの整理
4	リサーチの方法と分析	予習：事前配布された資料を確認しておく 復習：データを整理
5	リサーチの方法と分析	予習：配布資料を確認しておく 復習：データを整理
6	ポートフォリオの制作1	予習：ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習：目次の作成と確認
7	デザイン1	予習：指定された課題のエスキスの作成 復習：エスキスの修正、問題点の整理を行う
8	空間施工1	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：施工写真と問題点の整理
9	空間施工2	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：施工写真と問題点の整理
10	デザイン2	予習：指定された課題のエスキスの作成 復習：エスキスの修正、問題点の整理を行う
11	デザイン3	予習：指定された課題のエスキスの作成 復習：エスキスの修正、問題点の整理を行う
12	植物の栽培と管理	予習：植物の名前を調べておく 復習：写真の整理
13	植物の栽培と管理	予習：植物の特性を調べておく 復習：写真の整理
14	空間施工3	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：問題点の整理
15	空間施工4	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：問題点の整理

《専門科目》

科目名	ガーデニング実習				
担当者氏名	西川 真水、宮島 淳二、高宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	実習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

1年次に各コースの特性に合わせて学んだ現場スキルと、様々な講義科目などを通して得た知見、また設計演習で学んだ空間作りの基本プロセスを土台に、本実習では、ゼミナールごとに敷地空間の設計から施工までを行う。二丈キャンパス等においてゼミナール別にテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等の設計図書を作成し、このデザインをもとに施工を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。

《授業の到達目標》

- ・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画
- ・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。
- ・実地での技術を各論として学んだ総合実習（1年次通年科目）の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。

《成績評価の方法》

実技 30%  
 授業の取組 50%  
 その他（設計計画） 20%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50%、実技30%、設計計画20%で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編  
 造園施工必携  
 建設物価

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	整地・測量	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	遣方	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	現地調査及び測量	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	現地調査及び測量	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	現地調査及び測量	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	構想	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	構想	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	計画・設計	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	計画・設計	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	計画・設計	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	地形分析と敷地分析	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	地形分析と敷地分析	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	積算・工程計画	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	積算・工程計画	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	久保田 家且				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

当該科目は、これまで学んできた製図演習や環境設計演習 を継続するものであるが、座学で教授してきた 緑地計画学 庭園設計論を具現化するものであり、個人庭園を設計する際の課題整理から設計図・設計書作成及び作品のプレゼンまでを一貫して教示する。

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題作品は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

1. 日本人の自然観や美意識を表現する手法であり、日本の伝統文化の象徴でもある日本庭園の設計ができるようになる。 2 . 景観やバリアフリー等を意識した設計ができるようになる。 3. 計画地周辺の状況や施主の条件・課題を整理し、それらに応えられる設計ができるようになる。 4. コンセプト設定まではグループ作業、その後は各自で設計を完成させ、プレゼンを行えるようになる。 以上のこと目標とする。

《成績評価基準》

課題作品について

伝統的な日本庭園の技法を駆使した設計となっているか。  
景観やバリアフリーに配慮した設計となっているか。  
与条件をクリアーした設計となっているか。  
を審査。さらに、作品のデザイン、機能、計画高等を審査し評価する。

《成績評価の方法》

課題 80%  
授業の取組 20%

《参考図書》

「造園施工管理技術編」日本公園緑地協会、  
「造園実務ポケットブック」木村了  
(株)オーム社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
2	事例の施設構造図等検討	予習：日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
3	課題の設定と条件整理	予習：日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
4	庭園のコンセプト設定	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
5	ゾーニングと動線図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
6	庭園構想図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
7	庭園平面計画図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
8	庭園平面計画図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
9	庭園平面計画図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
10	庭園平面計画図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
11	庭園平面計画図作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
12	各種計画図作成(計画高図、給排水図等)	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
13	施設詳細図及び立面図等作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
14	企画提案書作成	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：企画提案書を見直す等復習すること(30分)
15	課題作品プレゼン・講評	予習：庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習：プレゼン手法を復習すること(30分)

《専門科目》

科目名	コンピュータ実習				
担当者氏名	勝野 靖弘				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

福浜キャンパスや周辺の公園の木や花壇、ファニチャーなどを調査して CAD で図面化してもらいます。毎回、基本的な操作法は説明しますが、わからないことの質問の仕方や、自分で方法を見つけるテクニックも身につけてもらいます。基本的な CAD の機能を習得してもらうとともに、「見やすい図面」のために気を付けなければならないことも学んでもらいます。

《授業の到達目標》

緑地計画は目的に応じて必要な屋外の測量や調査結果を正しく表現する必要があります。また、建築・土木設計との協働などで他社とのデータ交換、合成などが必要になります。CAD で正確に図面を画き、データを扱う技術を習得しましょう。また、CAD のすべての機能を習得する必要はありませんが、「どんなことができるか」を把握し、必要な機能をヘルプやネット検索を利用して方法を習得できるようになりましょう。

《成績評価の方法》

授業の取組 60% (毎回の課題提出含む)  
その他 (最終成果品) 40%

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《成績評価基準》

受講態度等  
最終成果品提出

《参考図書》

特になし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	緑地計画の環境設定	予習：シラバスに目を通すこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
2	緑地計画平面図入力(敷地測量図、縮尺)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
3	"	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
4	"	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
5	緑地計画図作成(ガーデンファニチャーなど)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
6	"	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
7	"	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
8	緑地計画図の完成(タイトル・凡例など)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
9	3D 計画図作成(階段・段差、壁の立体化)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
10	"(ガーデンファニチャーの立体化)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
11	"(植栽の立体化)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
12	緑地計画立体図作成(施工詳細図など)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
13	パース作成(ビューポートを使うプレゼン準備)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
14	"(家屋からの眺めをシミュレーション)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
15	まとめ(プレゼン完成アニメーション見学)	予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上 博、永島 知子				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。				

《授業の概要》

「測量実習」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時に GPS や GIS を活用した新しい測量に関する実習も行います。コンピュータによる実習では Excel・ArcGIS・Google Map などを使います。関数電卓と製図道具が必要です。

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」  
（コロナ社）  
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術を身につける。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%  
課題 30%  
授業の取組 30%

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」  
（日本測量協会）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 計算基礎	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	測量計算について	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
3	トータルステーションの取り扱い	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	角度と距離の測定	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
5	角度と距離の測定	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	トラバース測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	トラバース測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	二丈キャンパスのトラバース測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	二丈キャンパスのトラバース測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	二丈キャンパスのトラバース測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	二丈キャンパスのトラバース測量まとめ	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	二丈キャンパスのトラバース測量まとめ	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	二丈キャンパスの細部測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	二丈キャンパスの細部測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要

《専門科目》

科目名	造園施工管理論				
担当者氏名	高宮 さやか				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

わが国の造園業の歴史と現状、今後の動向とあるべき姿、とりわけ生態系に配慮した緑地の在り方と管理手法の重要性や、花卉園芸の重要性、世界的に注目される日本庭園の施工と管理の在り方に目を向けたいと、実際の現場での施工管理とその遂行に必要な知識を講義する。公共・民間の造園工事を行ってきた実務家教員が現場での実際的な対応の方法と、必要な心構えを造園特有の事象を織り込んで講義する。

《授業の到達目標》

造園工事と緑地管理に関する基礎知識と施工管理の在り方を理解し、工程表の作成と出来高管理ができるようになる。また、造園特有の植物材料に必須の管理項目を具体的に挙げるができるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 100%

《教科書》

(一社)日本公園緑地協会『造園施工管理技術編』  
プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

添削して翌週返却する。

《成績評価基準》

筆記試験により行う。

《参考図書》

各自治体が発行する土木工事施工管理の手引き

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	造園工事業、造園業界について	予習：最近の公園に関する話題を拾っておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
2	入札と PPP、設計図書	予習：PPP について調べておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
3	施工計画と工程計画1(パーチャート)	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
4	施工計画と工程計画2(ネットワーク)	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
5	出来形管理と出来高管理と設計変更・原価管理	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
6	出来形管理と出来高管理(現場実測)	予習：現場を下見しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
7	出来形管理と出来高管理のまとめ	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
8	品質管理1	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
9	品質管理2	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
10	植栽工の品質管理と枯れ補償・植樹保険	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	緑地の維持管理の特性とあり方について	予習：身近な公園緑地の管理状態を観察する(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	建設副産物、環境保全	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	安全管理 - 労働災害、近隣対策	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	工事費の構成と積算	予習：テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	まとめ	予習：ノート整理と検定の準備(2時間) 復習：疑問点を調べる(2時間)

《専門科目》

科目名	樹木医学				
担当者氏名	清水 進				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

樹木医制度や樹木保護に関する制度を理解し、農薬や腐朽病害の基礎知識、生産と機能、生態、危険度診断、樹木保護の実際について理解を深める。また、植物の育成に及ぼす植栽地盤の土壌や気象などの環境条件の影響を理解し、植物の育成管理のあり方を学ぶ。樹木の生きざまを観察し、その状態を理解するためには、生物学、植物基礎学、育成管理学、土壌学などのすべての知識が必要である。

《授業の到達目標》

樹木医学とは、「樹木の構造と機能を理解し、病気すなわち機能不全の現象を研究し、その診断・治療・予防の方法を開発し、樹木の保全を図る学問」と定義される。地球規模の環境問題のなかで、樹木や森林の果たす役割は大きく、また天然記念物となっている巨樹巨木は文化遺産としての価値も有する。これらの保護を目的とし、樹木の生理、生態学などの基礎知識の応用として、樹木医学を理解できるように学習する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%  
レポート 20%  
授業の取組 20%

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

樹木の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法の理解度(筆記試験)、レポートの内容および授業への取組により評価する。

《参考図書》

「緑地環境学」小林・福山共著 文永堂

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	樹木医制度の概要	予習：シラバスに目を通すこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
2	樹木医学概論	予習：樹木の種類と特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
3	樹木保護に関する制度	予習：樹木保護法の種類と特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
4	樹木概論	予習：植物の進化と樹木(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
5	農薬の知識	予習：農薬の種類と特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
6	腐朽病害の基礎知識	予習：腐朽病害の種類と特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
7	樹木の構造と機能	予習：樹木の構造と機能(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
8	樹木の生理	予習：光合成と植物ホルモン(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
9	樹木の生態	予習：樹木の生態の特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
10	危険度診断と外科的対策	予習：危険度診断と外科的対策(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
11	環境ストレス(気象害)	予習：環境ストレス(気象害)(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
12	移植法	予習：移植法(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
13	樹木保護の実際(1)	予習：樹木保護の実際(土壌対策)(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
14	樹木保護の実際(2)	予習：樹木保護の実際(外科的対策)(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
15	まとめ	予習：配布プリントの整理と質問事項の抽出(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)

《専門科目》

科目名	造園昆虫・動物学演習				
担当者氏名	岩熊 志保				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。				

《授業の概要》

野外に出て昆虫類を捕獲し、実際に観察しながら昆虫の分類を学ぶ。  
樹木に害を及ぼす昆虫類の生態を把握し、総合的な防除をしていくための基礎を学ぶ。

《教科書》

最新・樹木医の手引き（日本緑化センター）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ワーク課題は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

昆虫を目ごとに分類できる。  
樹木を取り巻く昆虫、動物を同定できる知識を持つ。  
対象昆虫に見合った総合的な防除方法を導き出すことが出来る。

《成績評価基準》

試験にて到達目標を評価する。授業途中で課題を出し、それも加味する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%  
課題 10%  
実技 10%

《参考図書》

もっとくわしい植物の病虫害百科（根本久・矢口行雄・学習研究社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	生態系の構造	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
2	昆虫の形態	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
3	昆虫の分類	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
4	昆虫の生態	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
5	昆虫標本作製	予習：昆虫標本作製の仕方を調べる2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
6	植物に害を及ぼす昆虫の発生と環境(1)	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
7	"(2)	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
8	"(3)	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
9	"(4)	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
10	防除方法(生物的防除/科学的防除/耕作的防除)	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
11	総合的害虫管理	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
12	鳥獣の被害と生態/野生動物の管理	予習：教科書を読む2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
13	ピオトープ	予習：ピオトープとは何かを自分なりに調べる2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
14	生物多様性	予習：生物多様性とは何かを自分なりに調べる2時間 復習：その日の授業内容を見直す2時間
15	まとめ	予習：今までの授業内容をすべて見直す2時間 復習：今までの授業内容をすべて見直す2時間

《専門科目》

科目名	緑地管理演習				
担当者氏名	藤原 良治、小才 寛康、秦 忠広、山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。				

《授業の概要》

実習場や近隣施設を通じて独創性を深め、より実践的な演習を行っていきます。  
「創造と草花」を理念として二丈キャンパスの管理・利活用運用を考えていく。樹木、草花等の植物の知識習得に努める。

《教科書》

「造園施工管理公園緑地協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

造園作品・植物・公園施設等の維持管理運用に関する知識・技術を具体的作業を演習することにより会得する。

《成績評価基準》

授業の取組50%、実技50%で評価する。

《成績評価の方法》

実技 50%  
授業の取組 50%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス キャンパス巡回	予習：シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	整枝剪定、サイクル堆肥 材活用	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	整枝剪定、水質管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	整枝剪定、温室管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	整枝剪定、衰弱樹木の養 生	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	整枝剪定、増殖	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	病害虫防除・除草 キャンパス巡回	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	庭園管理、芝生管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	庭園管理、芝生管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	庭園管理、芝生管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	地域貢献学外緑地管理支 援	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	地域貢献学外緑地管理支 援	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	公園緑地の運営・利活用 促進、施設管理	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	学外緑地管理見学	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	予習：演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	フラワー装飾				
担当者氏名	野口 静香、山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

ドーム型アレンジメント、スパイラル花束、ブートニア、試験内容を毎回時間を計りながら作っていきます。(花材費、別途必要です)

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

フラワー装飾技能検定試験内容である3パターン実技・学科。最終目的全員資格取得を目指し受験生全員でタイムを計り制作・練習を重ねそれぞれのやりやすい方法、工夫できる点などを教えコミュニケーションとりながら合格を目指します。

《成績評価基準》

試験にむかう姿勢、作品の出来映え、サイズ、時間、花の扱いでの総合評価

《成績評価の方法》

実技 50 %  
授業の取組 50 %

《参考図書》

過去の授業資料  
検定試験資料

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	3級リボンテクニック	予習：シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	学科試験、過去問題、対策学習	予習：教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	造園工学				
担当者氏名	田上 博				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

授業は講義形式で行う。前半は2級土木施工管理技術検定合格が目標である。後半は建築計画、国土形成、今後の地形の取扱い、地形への処し方を考える。地形を物理的存在としてだけでなく、風土の形成基盤として捉え、地形に関わる基礎的要件、応用的視座を学ぶ。

《教科書》

「造園施工管理技術編」  
(日本公園緑地協会造園施工管理委員会編)  
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

社会の基盤整備が進み、私たちの生活は豊かになった。同時に生活環境の質を高めるための社会的ニーズもより高度なものになっている。造園分野においても庭師や植木職だけでは完成せず、土木に関連する比重が大きくなってきている。本講の目標は、一般土木工学技術はもちろん、21世紀の課題である「自然と人間の共生」や風土の形成に肝要な基盤整備にあることを認識する。

《成績評価基準》

主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%  
課題 10%  
授業の取組 10%

《参考図書》

「環境緑化学」(小橋澄治他編)  
「緑化土木」(斉藤一雄著)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基礎数学	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	土工	予習：教科書「造園施工管理技術編」p693～p713を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	仮設工	予習：教科書「造園施工管理技術編」p686～p692を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	基礎工	予習：教科書「造園施工管理技術編」p64、65配布資料を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	コンクリート構造	予習：教科書「造園施工管理技術編」p65～p685を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	建設機械	予習：教科書「造園施工管理技術編」p819～p840を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	港湾工学	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	道路工学	予習：教科書「造園施工管理技術編」p21～p28を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	地形学の変遷と基礎	予習：教科書「造園施工管理技術編」p54を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	岩石学・地質学の基礎	予習：教科書「造園施工管理技術編」p170～p171を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	地形図と地図情報	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	土地資源分析と土地利用計画の基礎	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	地形分析・地形と土地利用	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	地形と造園/地形のイメージとランドフォームデザイン	予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	地形と建築/建築概論及び、デザインウィズネイチャー	予習：教科書「造園施工管理技術編」p69～p75を熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	造園地被学				
担当者氏名	松本 幸生				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

主として芝草を対象に、その植物学的性状、生理生態的特性、芝生の造成、維持・管理法、生育と環境要因との関係、芝生の持つ機能等について解説する。その他のグランドカバー植物についても、その種類や利用法について解説する。授業は主としてパワーポイントを用いた座学で行うが、適宜芝草管理の実習等も検討する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、レポートの添削、返却

《授業の到達目標》

本講義では主として芝草の特性、芝生の造成・維持管理手法についての基礎的な技術的知識を習得すること目的とする。又、現況の芝生の問題点を理解し、今後の新たなあり方、造成・管理手法を考察する技術的デザイン能力を養う。

《成績評価基準》

講義内容の理解、習得度並びに造園地被部門に対する向学心の度合いを評価する。

《成績評価の方法》

レポート 50 %  
授業の取組 50 %

《参考図書》

緑を創る植栽基盤(興水肇・吉田博宣編)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	地被植物の定義、特性と分類について	予習：シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
2	暖地型芝草の草種と特性について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
3	寒地型芝草の草種と特性について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
4	公園、緑地等における用途別草種の選択と利用法	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
5	修景、環境保全等の芝草の持つ機能について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
6	温度、光等の環境要因と芝草の生育について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
7	芝草の造成法について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
8	同上	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
9	芝草の育成管理、病虫害・雑草防除等について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
10	同上	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
11	同上	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
12	粗放管理による芝型草地の維持管理について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
13	芝草の種子、ソッド生産と需要等について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
14	その他の地被植物の種類と利用法について	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)
15	まとめ	予習：配布したプリントを熟読しておくこと(2時間) 復習：講義内容の復習(2時間)